

愛のともしび (在宅版)

NO 65

令和2年9月7日

発行人 池田 里志

TEL 086-275-3211(8555)

岡山県重症心身障害児(者)を守る会

ホームページ [岡山県守る会](#) [検索](#)

早い新学期を迎えるも残暑の厳しさは格別の様です。一時落ち着きを見た新型コロナウイルス感染の状況も秋を迎える私どもに多くの不安を感じさせます。在宅の子どもたちも通所などご苦労があったと思います。その後如何でしょうか。いかくらか落ち着きましたでしょうか。

平素は岡山県重症心身障害児(者)を守る会の活動にご協力いただきお礼申し上げます。守る会活動はコロナ対応で変則を余儀なくされています。ホームページにも紹介していますが現在状況をお伝えします。

令和2年度 コロナ禍 岡山県(全国)守る会の動き！



愛のともしび前号(64号)で一部お知らせしていますが、現況の概略をお知らせし、皆様のご協力をお願いいたします。

令和2年度 「中止」の事業

- ※岡山県重症心身障害児(者)を守る会総会 (5月23日・児童院)
書面決議として計画決定をしました。
- ※全国重症心身障害児(者)を守る全国大会 (6月27~28日・北海道)
【令和3年度 日時未定 北海道 を予定】
- ※中国ブロック合同専門部会
(8月8日・きらめきプラザ)
- ※在宅児者集団指導療育キャンプ
(8月22~23日・旭川児童院)
- ※在宅保護者研修会 研修 「私の避難プラン」
- ※第30回全国重症心身障害児(者)を守る会 中国ブロック大会 (出雲)
(11月7~8日・出雲ロイヤルホテル)
【令和3年度 日時未定 島根県 を予定】

令和2年度 「実施予定」の事業

- ※在宅交流会
- ※施設交流会

新型コロナウイルス感染状況により、
決定しお知らせします。
ご希望・ご意見遠慮なく！

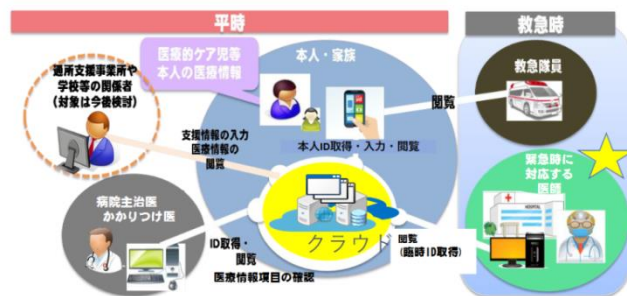


守る会から大切なお知らせ!!

医療的ケア児等医療情報共有システム (MEIS)

医療的ケアが必要な児童等が旅行など外出先での救急時や、予想外の災害、事故に遭遇した際に、全国の医師・医療機関（特に、救急医）が迅速に必要な患者情報を共有できるようにするためのシステムが本格運用開始(7月29日)となりました。登録により出先でのトラブル減少など期待が大きいと思われま

す。システムの解説・利用申込みの方法など資料を事務局に準備していますのでご連絡下さい。利用申込みのご案内をいたします。



MEISの特徴

クラウドを使い全国どこでも共有

● 救急医療情報の共有

- ・基本情報や診察記録から、救急に必要な情報を選択しておけば、救急にあたる医師が、全国どこからでも患者の救急医療情報の確認が可能となる
- ・暗号化通信により、共有される情報は暗号化され、AIを活用し世界から来る標的型セキュリティ攻撃を防御するなど、政府セキュリティ統一基準に適合した、安全な情報共有を可能とする

医師・患者がデータを共有

● 医師(代理入力も可能)、患者家族が相互に情報を入力

- ・血液型、緊急連絡先のほか、アレルギー、患者家族の願い・意向等は患者家族が記載
- ・処方薬、人工呼吸器の詳細情報などの医療情報は医師が記載
※医師が記載できない場合、患者家族が記載し、医師が確認
※医療に係る情報は医師の確認の有無を表示

検査画像を共有

● 画像やケア情報も共有

- ・検査やケアの様子や発作時の状態などの画像の取り込みも可能
- ・取り入れてほしい姿勢などのケア情報も記入可能 (⇒入院時のケアにも有効)

県との意見交換会

岡山県との意見交換会(8月7日 きらめきプラザ)が開催されました。守る会として、18項目の意見をお願いしました。

障害福祉課の方々が熱心に話を聴いてくださいました。在宅の重症児者に関連した項目を一部簡単にご紹介します。

- * 感染症流行時や災害時のため、衛生物品・医療物品等の備蓄と、供給体制の整備
- * 平常時と、感染症流行時や災害時等の非常時も、短期入所の受入れの確保、関係各所との連携体制の整備
- * 児童発達支援事業ならびに生活介護事業について、地域で通えるよう実施個所数の更なる拡充
- * 災害時の福祉避難所への受入れ体制の整備
- * 医療的ケア児者の地域における支援の充実と、保健、医療、福祉、教育等関係機関による連携体制の促進
- * 停電時、医療的ケアに必要な非常用電源確保のための助成
- * 重症児者のためのグループホーム施策の整備
- * 多目的トイレへの簡易ベッドの設置
- * 重症児者の生涯教育の推進



!! 特集 !! ・ ・ ・ 私たちの防災とコロナ対策

災害時サポートブックについて

岡山県では障害者の避難についてよりスムーズに行動できるよう、「災害時サポートブック～私の避難プラン～」が作成されました。守る会会員さんには配布させていただいています。子どもたちの安全確保のために冊子を活用し、慌てることのないよう取り組みをお願いいたします。

なお作成に当たっての気づき事項などのご意見や問題点（福祉避難所について、各自治体の状況や特性など）を守る会にお伝えをお願いいたします。

災害用伝言ダイヤル（171）ご存知ですか？

災害時サポートブックの⑳ページに掲載されています。

毎月1・15日とお正月、防災週間に、体験利用することができます。

!!万が一の災害に備えて、ご家族やお友達と練習してみませんか!!

ぼうさいやどかり おかやま について

医療的ケアの必要な方が災害の恐れがあるときや、自宅の停電が続くとき、避難先として地域の病院や福祉施設が利用できるシステムが動き出しました。（R2年6月スタート）

必要な資格確認や会員登録など事前の手続きが必要です。

<https://miitus.jp/t/yadokari/> にて確認ください。



おかやま防災ポータル について

災害の恐れがあるとき各地域の気になる情報が入手できます。

<https://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>

PCの時

<https://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/sh/>

スマホの時

有効に活用し、防災に備えましょう。

停電に備えて～医療機器を使用されている方に～

- * 主治医の先生や業者さんと話し合っておきましょう。
- * 人工呼吸器や吸引器のバッテリーを平時より充電しておきましょう。
- * 車から電源をとることが出来る車両があります。確認しておきましょう。
- * 蓄電池や発電機を使用する方法もあります。
- * 電気を使用しない方法もあります。
 - ・人工呼吸器は、蘇生用バッグを使用する。（点検と使用法の習熟）
 - ・酸素濃縮器は、酸素ポンプを使用する。（対応時間の把握）
 - ・痰の吸引は、手動式、足踏み式、乾電池式などがあります。
 - ・エレベーターが止まって車いすを使用出来ない時、移動用タンカを使う。

!! 停電になると、吸入器や加湿器、排痰補助装置なども使用できなくなり、痰が吸引しづらくなる場合もあるので、その方に合わせた方法を検討しておきましょう!!

持ち出し品・備蓄品～いざというときに備えて～



* 災害時には必要な薬がすぐには手に入らないことも考えられます。薬・医療的ケア物品・栄養剤・水など、常にストックし、持ち出せるようにしておきましょう。ふだん持ち歩いているカバンの中、自家用車の中、通所先などにも予備があると災害時はもちろん急なアクシデントの時も安心ですね!

* 普通食を食べるのが難しい方用に食べ物の備蓄はどうされていますか？舌で潰せる固さやペースト状のレトルト介護食、ゼリー飲料など、通販やドラッグストアで種類豊富に販売されていて、常温での保存に便利です。普段から食べ慣れていないと急には口に合わなくて食べられないかも知れないので、試食して好みの味の物を見つけておくといいかも知れませんね。

!! こんなものもあります!ご存知ですか? 非常備蓄用ミキサー粥(常温5年保存可能)袋を開けて、お湯または水を注ぎ、かきまぜるだけで出来上がり!水の量でお粥の固さが調節できます!!

守る会へのご意見、ご要望などお聞かせください。各事業に対するご意見をお寄せください。事業計画の参考にさせていただきます。



(申し込み・問い合わせ先)
703-8555 岡山市北区祇園 866 旭川児童院内
岡山県重症心身障害児(者)を守る会事務局 横田瑞恵
TEL 086-275-3211 FAX 086-275-5102
メール kazoku@jidouin.jp